

我議第35号  
平成26年5月12日

松戸市議会議長  
小沢 暁 民 様

我孫子市議会議長  
木 村 得 道

高濃度放射性物質を含んだ下水汚泥焼却灰の保管について（要望）

平成25年10月30日付、我議第295号でも保管上の安全対策についてお願いいたしましたが、手賀沼終末処理場には高濃度放射性物質を含んだ「指定廃棄物」の下水汚泥焼却灰が台風・竜巻による暴風・浸水被害等の危険があるテント倉庫に800袋（約380トン）も保管されています。

平成25年4月に第1回が開催された指定廃棄物処理促進市町村長会議は、第1回から1年を経過した平成26年4月17日の第4回会議で、ようやく「数カ月後に最終処分場の候補地を1カ所選定する」という方針が決められました。このような状況では、最終処分場の建設・稼働がいつになるのか全く見通しが立ちません。

昨今の異常気象のなか、危険なテント倉庫での保管が続くことについて、近隣住民をはじめ、我孫子市民は大変な不安を感じています。

手賀沼流域下水道を利用されている流域市議会の皆様におかれましては、テント倉庫に保管されている800袋（約380トン）につきましても、既に建屋内のスペースに保管されている339袋（約170トン）と同様に建屋内に移動し、安全な保管がされるよう千葉県へ働きかけていただけますようお願い申し上げます。